令和6年度 事業系一般廃棄物減量化計画書

コード	番号											4	令和	年		月	日	作成
建			名	称	所	有 者		延床	k面積(㎡)	用	1 小型テナント 2 大型テナント	ビル		事務所				
										途	3 自社ビル・1ネ	土占有ビル·学	ዸ校	飲食店				
物	郵便番号			所 在	電話番号	従業	美員数(人)	内	4 小型集客ビル 5 大型集客ビル			小売店						
									訳 6 工場、倉庫、配送センター					その他				
一 管	氏	名		所	属		役 職 名			氏	名			連絡用電子	アメール	レアドレス	ス	
般理廃責								担当										
葉 任物 者	郵便番号			住	近		電話番号	者			戸	f 属					電話番	号
物者																		

	ごみの種類	:	過去の処分実績		(令和 5 年 令和 5 年 4 月~	F度実績 √令和 6 年 3 月)		令和 6 年 (令和 6 年 4 月~	F度計画 ~令和 7 年 3 月	∄)
		令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度	発生量(kg)	資源化量(kg)	処分量(kg)	資源化率	発生量(kg)	資源化量(kg)	処分量(kg)	資源化率
	(該当する区分に記入して下さい)	処分量(kg)	処分量(kg)	処分量(kg)	Α	В	A-B	B÷A×100	Α	В	A-B	B÷A×100
資	新聞											
源	雑誌・パンフレット等印刷物											
化	段ボール											
でき	OA用紙類											
る	秘密文書(保存文書含む)											
紙	シュレッダー											
ごっ	その他の紙(封筒、包装紙、紙箱等)											
み	小計 A											
	可燃ごみ(紙くず、木くず、少量の生ごみ等)											
上記	厨芥類(生ごみ)											
	びん類											
以												
外	ペットボトル											
の	ビニール・プラスチックごみ											
も の	不燃ごみ											
0)	その他											
	小計 B											
	総合計 A+B											
	令和5年度 紙ごみ、厨芥類の減量化につい	ての取組み /	その他	令和	和6年度 紙ご	み、厨芥類の減量	量化についての	取組み / その	D他	ごみ量	量の把握方法に	ついて
										□ 重量の実測	による把握	
												- 7 +# \pul
										□ 個数やおお。	よその大きさ等によ	る推測
										□ 廃棄物処理	業者・資源回収	業者へ問合せ
										□ その他 (
										_ ` `		,

1 建物の管理体制等

建物所有者として (1) ISO14001の取得に	ついて	(2)	建物所有者のエコアクション		ついて	(2)		CISO14001 ション21取		
	① 取得している			いる	- 50.0	(3)	〇有	73721 4 X	付止未	の有無
			_	20.0						
取得中			○ 取得中				〇 無			
○ 検討している			○ 検討して	こいる						
○ 予定はない			○ 予定は	ない						
(4) ビル管理会社										
名 称					所 在 地	ļ				電話番号
(5) ごみ区分ごとの)契約回収業	者名と回	収頻度							
区	分			回収業者	名		回机	双頻度		収集時間
可燃ごみ						毎E	∃・週・月	1∙年		時頃
プラスチックごみ						毎E	ヨ・週・月	∮· 年	口	時頃
不燃ごみ	- 下燃ごみ					毎E	∃・週・月	1∙年	口	時頃
資源ごみ(新聞・雑詞	資源ごみ(新聞・雑誌・段ボール)					毎E	ヨ・週・月	∮· 年	口	時頃
資源ごみ(OA用紙類	、その他の	紙)				毎E	∃・週・月	1∙年	口	時頃
秘密文書						毎E	∃・週・月	1∙年	口	時頃
資源ごみ(びん類・缶	5 類)					毎E	∃・週・月	1∙年	口	時頃
ペットボトル						毎E	∃・週・月	1∙年	口	時頃
(6) 紙ごみ、びん類	、缶類、ペッ	小ボトル ↓	以外の資源	化状況						
品	目				資	資源化	の方法			
(7) 事業ごみ指定領	※の使用枚数	数(前年度	の年間使用	甲枚数を動	己入してくだ	さい)			
	10L	20L	30L	45L	70L		nı 🏻 🖟	(使用してい ください	ない場	合は理由を記入し
可燃ごみ用								\/_CV'		
 不燃ごみ用										
 プラスチックごみ用										

2 管理体制等チェック事項

(1)	回収されたごみの行き先(焼却・リサイクル等)の把握について
	○している
	○していない
(2)	建物内のごみの出し方や場所・処分先などを明記したもの (ごみ出しフロー等)の作成について
	○している
	○していない
(3)	建物内でのごみに関する問い合わせ先の明示について
	○している
	○していない
	(理由:
)
(4)	資源化できる紙ごみのうち、資源化する品目として設定し ているものについて
	□ 新聞、雑誌、段ボール
	□ OA用紙類
	□ その他の紙(封筒、紙箱等)
	□ 秘密文書
	□ シュレッダー
(5)	古紙を回収する分別ボックスやストックするための空き段 ボールなどの設置について
	○している
	○ していない
(6)	生ごみのリサイクルについて
	○している
	(品目:)
	○ 検討中
	(方法:
	○していない

(7)	ごみ箱に分かり易いようにイラストや詳しい内容の表示について
	○ している
	○ していない
(8)	各部署やテナント等へ、分別の徹底や資源化の積極的な 周知(文書を出す、研修会を開くなど)について
	○ している
	○ していない
	(理由:
)
(9)	一般廃棄物管理責任者による各部署・テナント等のごみの 排出・分別状況の積極的チェックについて
	○ している
	○ していない
(10)	OA用紙やトイレットペーパーの再生品の意識的使用について
	○ している
	○ していない
	(理由:
)
(11)	事業ごみ指定袋に排出者名(ビル名・テナント名等)の記入 について
	○ している
	○ していない
	(理由:
)

備			
考			

コード番号 12345 令和 OO 年 OO 月 OO 日 作成 名 称 延床面積(㎡) 事務所 所有者 小型テナントビル 大型テナントビル 3 自社ビル・1社占有ビル・学校 途 00ピル △△株式会社 123 飲食店 建 物 4 小型集客ビル 郵便番号 所在地 電話番号 従業員数(人) 小売店 内 5 大型集客ビル 訳 6 工場、倉庫、配送センター 082-XXX-XXXX 730-8586 中区国泰寺町一丁目6番34号 その他 属 氏 名 所 役 職 名 氏 名 連絡用電子メールアドレス 一管 般 理 担 00 00 △△株式会社総務部総務課 課長 $\Delta\Delta$ $\Delta\Delta$ △△kk@xxx.co.jp 廃責 当 住 所 電話番号 所 属 電話番号 棄任 郵便番号 者 物者 733-0833 西区商エセンター七丁目7番1号 082-△△△-XXXX △△株式会社総務部総務課 **082-**△△△**-**XXXX

	ごみの種類	:	過去の処分実績	Ī	(令和 5 年 令和 5 年 4 月~)	(令和 6 年 4 月~)				
		令和 2 年度	令和3年度	令和 4 年度	発生量(kg)	資源化量(kg)	処分量(kg)	資源化率	発生量(kg)	資源化量(kg)	処分量(kg)	資源化率				
	(該当する区分に記入して下さい)	処分量(kg)	処分量(kg)	処分量(kg)	Α	В	A-B	B÷A×100	Α	В	A-B	B÷A×100				
資	新聞	0.0	0.0	0.0	2,400.0	2,400.0	0.0	100.0%	2,400.0	2,400.0	0.0	100.0%				
源	雑誌・パンフレット等印刷物	0.0	0.0	0.0	2,000.0	2,000.0	0.0	100.0%	1,900.0	1,900.0	0.0	100.0%				
が 化 で き	段ボール	0.0	0.0	0.0	5,800.0	5,800.0	0.0	100.0%	5,500.0	5,500.0	0.0	100.0%				
	OA用紙類	450.0	250.0	300.0	8,000.0	7,850.0	150.0	98.1%	7,500.0	7,500.0	0.0	100.0%				
る	秘密文書(保存文書含む)	0.0	0.0	0.0	5,200.0	5,200.0	0.0	100.0%	5,000.0	5,000.0	0.0	100.0%				
紙	シュレッダー	0.0	0.0	0.0	1,100.0	1,100.0	0.0	100.0%	900.0	900.0	0.0	100.0%				
ご	その他の紙(封筒、包装紙、紙箱等)	250.0	260.0	200.0	1,300.0	1,200.0	100.0	92.3%	1,000.0	1,000.0	0.0	100.0%				
み	小計 A	700.0	510.0	500.0	25,800.0	25,550.0	250.0	99.0%	24,200.0	24,200.0	0.0	100.0%				
	可燃ごみ(紙くず、木くず、少量の生ごみ等)	1,300.0	1,200.0	1,000.0	1,000.0	0.0	1,000.0	0.0%	100.0	0.0	100.0	0.0%				
	厨芥類(生ごみ)	3,400.0	3,600.0	3,500.0	3,500.0	0.0	3,500.0	0.0%	3,300.0	2,500.0	800.0	75.8%				
上記	びん類	0.0	0.0	0.0	500.0	500.0	0.0	100.0%	500.0	500.0	0.0	100.0%				
以	缶類	0.0	0.0	0.0	1,000.0	1,000.0	0.0	100.0%	1,000.0	1,000.0	0.0	100.0%				
外	ペットボトル	0.0	0.0	0.0	700.0	700.0	0.0	100.0%	700.0	700.0	0.0	100.0%				
の	ビニール・プラスチックごみ				500.0	250.0	250.0	50.0%	500.0	300.0	200.0	60.0%				
も の	不燃ごみ	1,800.0	1,690.0	1,550.0	1,500.0	0.0	1,500.0	0.0%	100.0	0.0	100.0	0.0%				
••	その他	50.0	45.0	60.0	100.0	100.0	0.0	100.0%	120.0	120.0	0.0	100.0%				
	小計 B	6,550.0	6,535.0	6,110.0	8,800.0	2,550.0	6,250.0	29.0%	6,320.0	5,120.0	1,200.0	81.0%				
	総合計 A+B	7,250.0	7,045.0	6,610.0	34,600.0	28,100.0	6,500.0	81.2%	30,520.0	29,320.0	1,200.0	96.1%				
	令和5年度 紙ごみ、厨芥類の減量化についる	ての取組み /	その他	令和	日6年度 紙ご	み、厨芥類の減量	量化についての	取組み / その	D他	ごみ量	ごみ量の把握方法について					
44 - 4 -										☑ 重量の実測	による把握					
	、厨芥類の減量化についての取組み T能な紙箱、OA用紙の可燃ごみ袋への混入が多くあったたと	め、フロア毎に数か所	「紙の回収ポックス	紙ごみ、厨芥類の流 可燃ごみへの再生						□ 個数やおお。	よその大きさ等によ	る推測				
生ごみの	、資源化可能な紙類の再生化に努めた。)資源化方法について社内で検討を行い28年度より資源化?	を行うこととした。				POIこする。 Oプラントへ搬入しリ	サイクルを行う。			□ 廃棄物処理	業者・資源回収第	業者へ問合せ				
·その他 令和3年	度のごみ処分量に対し、20%の処分量削減を目標としたが	、未達であった。		定期的に各部署の	分別状況を公表する	5など、分別意識の向	日上に努め、減量化	・資源化を促進する	•	□ その他 (
							NALINAEN WY BILLIA CHANNA BUMCH MCANN AND AMAND									

1 建物の管理体制等

建物所有者として ISO14001の取得について	(2)	建物所有者として エコアクション21の取得について	(3)	建物内にISO14001 または エコアクション21取得企業の有無
● 取得している		● 取得している		● 有
○ 取得中		○ 取得中		○ 無
○ 検討している		○ 検討している		
○ 予定はない		○ 予定はない		

(4) ビル管理会社

名 称	所 在 地	電話番号
OOメンテナンス	東区蟹屋町9番38号	082-□□□-XXXX

(5) ごみ区分ごとの契約回収業者名と回収頻度

区分	回収業者名	回収頻度	収集時間	
可燃ごみ	00クリーナー	毎日·週·月·年 回	8	時頃
プラスチックごみ	00クリーナー	毎日・週・月・年 2 回	8	時頃
不燃ごみ	00クリーナー	毎日・週・月・年 1 回	8	時頃
資源ごみ(新聞・雑誌・段ボール)	〇〇資源	毎日・週・月・年 1 回	8	時頃
資源ごみ(OA用紙類、その他の紙)	〇〇資源	毎日 週月年 1 回	8	時頃
秘密文書	株式会社〇〇〇〇	毎日・週・月 年 1 回	14	時頃
資源ごみ(びん類・缶類)	〇〇産業	毎日・週・月・年 1 回	10	時頃
ペットボトル	〇〇産業	毎日(週)月・年 1 回	10	時頃

(6) 紙ごみ、びん類、缶類、ペットボトル以外の資源化状況

品目	資源化の方法
魚アラ	魚アラ業者(○○水産資源株式会社)の引取りにより飼料化している。

(7) 事業ごみ指定袋の使用枚数(前年度の年間使用枚数を記入してください。)

	10L	20L	30L	45L	70L	※使用していない場合は理由を記入してください
可燃ごみ用				520		
不燃ごみ用	350					
プラスチックごみ用				200		

2 管理体制等チェック事項

(1)	回収されたごみの行き先(焼却・リサイクル等)の把握について
	⊚ している
	○していない
(2)	建物内のごみの出し方や場所・処分先などを明記したもの (ごみ出しフロー等)の作成について
	● している
	○ していない
(3)	建物内でのごみに関する問い合わせ先の明示について
	⊚ している
	○していない
	(理由:
)
(4)	資源化できる紙ごみのうち、資源化する品目として設定し ているものについて
	☑ 新聞、雑誌、段ボール
	☑ OA用紙類
	✓ その他の紙(封筒、紙箱等)
	☑ 秘密文書
	☑ シュレッダー
(5)	古紙を回収する分別ボックスやストックするための空き段 ボールなどの設置について
	● している
	○していない
(6)	生ごみのリサイクルについて
	⊚ している
	(品目: 魚アラ)
	○ 検討中
	(方法:
	○ していない

	ごみ箱に分かり易いようにイラストや詳しい内容の表示に
(7)	こが相に分かり易いようにイラストや詳しい内容の表示に ついて
	● している
	○していない
	0 0 00 000
	各部署やテナント等へ、分別の徹底や資源化の積極的な
(8)	周知(文書を出す、研修会を開くなど)について
	○ している
	● していない
	(理由: ごみの排出方法が異なる一部のテナ
	ントに対しては周知を行っていない。)
(9)	一般廃棄物管理責任者による各部署・テナント等のごみの 排出・分別状況の積極的チェックについて
(3)	
	● している
	○ していない
(10)	OA用紙やトイレットペーパーの再生品の意識的使用について
	● している
	○していない
	(理由:
)
	タイプ
(11)	について
	● している
	○していない
	(理由:
)

備			
考			

◆コード番号

構成: 数値、5桁、登録1件につき1つの番号

左1桁目 (9nnnn): 規模区分

規模区分	
1	延床面積が2,500平方メートル以上の興行場、事務所等の所有者等
2	店舗面積が500平方メートルを超える小売店舗の所有者等
3	従業員200人以上の建物の所有者等

左2桁目 (n9nnn): 区コード

区コード	区名
1	中
2	東区
3	南区
4	西区
5	安佐南区
6	安佐北区
7	安芸区
8	佐伯区

下3桁目 (nn999): 昇順に割り当てている

<u>メモ:</u>

廃業・閉店・規模区分変更などで、対象外となったコード番号は 『欠番』として、再利用はしない。

◆所有者

建物の『所有者』もしくは『所有する法人』の名称を記入してください。

◆建物用途

	用 途	内 容
1	小型テナントビル	ワンフロアに1つ又は複数のテナントがあるなど、比較的小さな 事務関係のテナントが主体の建物です。
2	大型テナントビル	一つの会社が複数フロアを占有しているなど、比較的大きな事務 関係のテナントが主体の建物です。
3	自社ビル・1社占有ビル・学校	大きな事務関係の事業所が自社ビルを所有、又はテナントとして ビルを1社で使用しているような建物です。
4	小型集客ビル	比較的小さな店舗やスーパー、飲食店などの建物です。
5	大型集客ビル	百貨店やデパート、大型電器店、病院、ホテルなどの大きな建物 です。
6	工場、倉庫、配送センター	工場や倉庫、配送センターなどの建物です。

◆従業員数

建物用途が (6)工場、倉庫、配送センター の場合のみ記入してください。 その他の建物用途である場合は記入の必要はありません。

◆担当者

「担当者」欄の情報に変更がある場合は、速やかにお知らせください。

◆発生量·資源化量

ごみ収集業者から複数区分のごみを**まとめた数値**が提供され



上記の状態だと、集計作業ができないため、まとめられた件数で

按分した数値 を入力してくたさい。				
新聞	2,500.0		= 15000	÷ 6
雑誌・パンフレット等印刷物	2,500.0		= 15000	÷ 6
段ボール	2,500.0		= 15000	÷ 6
OA用紙類	2,500.0		= 15000	÷ 6
秘密文書(保存文書含む)	2,000.0	Ì ,		
シュレッダー	2,500.0		= 15000	÷ 6
その他の紙(封筒、包装紙、紙箱等)	2,500.0		= 15000	÷ 6
小計 A	17,000.0	1		6件

大まかな**割合**が分かるのであれば、パーセンテージで計算した数値を入力してください。 ※パーセンテージの合計が「100%」になるように注音してください

次パーピングープの日前が「10070」になるように注意してくたとい。				
新聞	750.0	= 15000	× 5%	
雑誌・パンフレット等印刷物	2,250.0	= 15000	× 15%	
段ボール	3,750.0	= 15000	× 25%	
OA用紙類	4,500.0	= 15000	× 30%	
秘密文書(保存文書含む)	2,000.0	`		
シュレッダー	2,250.0	= 15000	× 15%	
その他の紙(封筒、包装紙、紙箱等)	1,500.0	= 15000	× 10%	
小計 A	17,000.0		100%	